

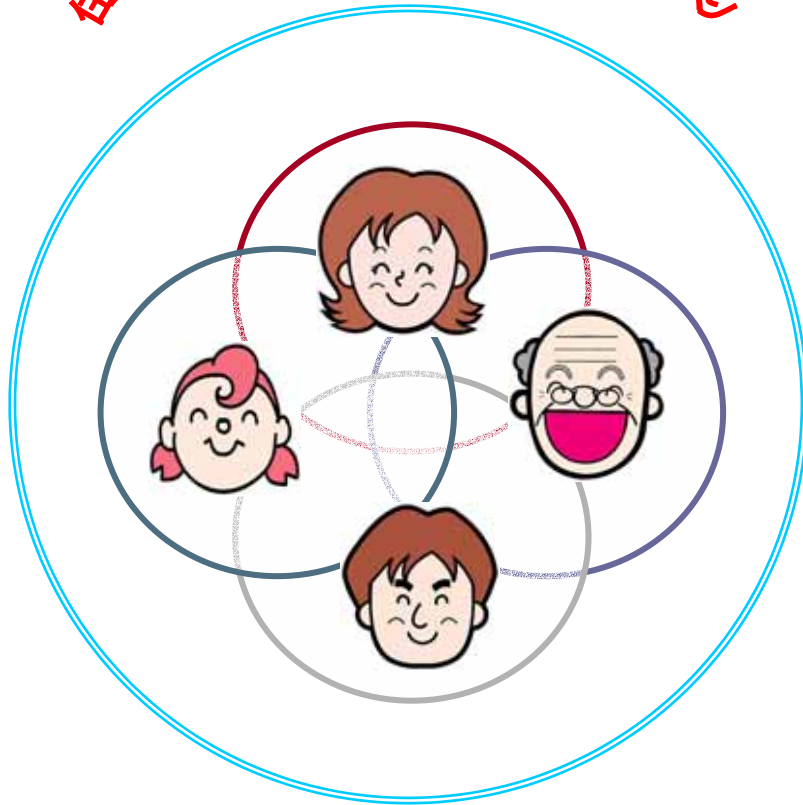
## おわりに

この住民協働のまちづくり推進プランの作成にあたり、「まちづくり」を考えるとときに最大の地域資源は、「まちを大切に思い、まちづくりの一員になるひとづくり」だと感じました。ハード事業については、目に見えてモノができるのでまちづくりが進んでいるように感じます。しかしながら、このハード事業で整備された施設や道路などが地域に根ざし、どのように活用されるかは地域住民の取り組みにかかっています。このように今ある地域資源（自然・歴史・施設など）を守り・活かしていくためには、行政だけの取り組みでは難しく、一緒に地域の課題・誇り・夢を語る中で私たち職員も含め、ともに取り組む「協働のまちづくり」が必要になってくると思います。

「住民協働のまちづくり」については、時間がかかるとは思いますが、住民と行政がお互いに共通認識・理念を共有できる土壌が形成されれば、あらゆる施策やコミュニケーションが円滑に進み、楽しいまちづくりができると考えています。今後、協働の時代に応じた意識改革と住民との信頼関係を築くコミュニケーションを積極的に深めていきたいと思っています。

また、各所属部署において、住民協働の理念である「ともに学びあい、育ちあう、楽しむ」まちづくりを常時意識し、住民の方々が生き生きと活動できる環境づくりは何かを考え、実現に向けて精一杯努力していきたいと思っています。

～住民協働のまちづくり～  
住民一人ひとりが幸せになれるまちづくり



竹原市協働のまちづくり推進プラン

<お問い合わせ>

竹原市総務課協働のまちづくり推進室

TEL 0846-22-2279

平成17年(2005年)10月発行